

(別紙2-1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 3 月 3 日

【事業所概要（事業所記入）】

|         |                              |           |            |
|---------|------------------------------|-----------|------------|
| 事業所番号   | 4271402143                   |           |            |
| 法人名     | 有限会社 みずほ福祉サービス               |           |            |
| 事業所名    | 有限会社 みずほ福祉サービス グループホーム「みずほ野」 |           |            |
| 所在地     | 長崎県雲仙市瑞穂町西郷己797番地            |           |            |
| 自己評価作成日 | 平成24年2月3日                    | 評価結果市町受理日 | 平成24年3月16日 |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

|              |  |
|--------------|--|
| 基本情報リンク先 URL |  |
|--------------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

|       |                                          |
|-------|------------------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人<br>ローカルネット日本福祉医療評価支援機構         |
| 所在地   | 〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七<br>島原商工会議所 1 階 |
| 訪問調査日 | 平成 24 年 2 月 20 日                         |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

自然に恵まれた当事業所は環境に溶け込む外観を備えている。事業主が造園業も営んでいるため自然を活かした造作がなされている。自然の持つ癒しの部分と介護のマンパワーを融合させたサービスを理想としている。

利用者がデッキにて滝の水音を愉しんだりできる庭園、露天風呂の他、畑には四季の野菜を育てて収穫する楽しさとマンパワーの人の痛みがわかる心を持った職員の育成とケアの均一化に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

広大な敷地と自然環境に囲まれた当ホームは、施設長の思いが感じられる木材を豊富に使用した露天風呂、庭園の滝の水音等、利用者がガラス戸で仕切られている見通しの良い共用空間から季節の移り変わりを見て感じられるようになっている。また、利用者が庭を散歩したり、野菜作りで収穫を喜んだり、ゆったりとした癒しの時間を得られる環境づくりにも尽力されている。

職員は研修で学んだケアを相互に指導し、接遇やケアの質の向上に向けて、チームワークの強化を考慮されており、調査当日、家族の方が来訪された際も行き届いた対応をされており、研修の成果が活かされていた。また、地域密着のホームとして、地域及び家族の理解と協力を得られる様に関係交流に努め、利用者本位の安心で健やかな日々への支援に取り組まれており、今後も更なる向上を期待したい。

## 1 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価       | 外部評価 | 項 目                                                                                     | 自己評価                                | 外部評価                                                                             |                                                                |
|------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
|            |      |                                                                                         | 実施状況                                | 実施状況                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容                                              |
| I 理念に基づく運営 |      |                                                                                         |                                     |                                                                                  |                                                                |
| 1          | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                      | 新たな理念を作成したいのだが試行錯誤中で以前の理念を現在も使っている。 | 職員は日々理念を確認して、利用者の快適な生活支援に向けたケアに努められている。理念の見直しを考慮されている。                           | 職員で話し合い、地域密着の社会的役割と利用者の地域生活の継続支援を踏まえた文言を考慮して、作成されることを期待したい。    |
| 2          | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                      | 自治会・老人会・子供会と世代間交流に努めている。            | 地元の方と日常的な関わりの中、地域消防団や保育園の協力のもと保育園児との交流等で、地域の一員としての繋がりを支援されている。                   |                                                                |
| 3          |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                    | 地域の小・中学校の福祉体験学習や島原農業高校の学生（太鼓部）の受け入れ |                                                                                  |                                                                |
| 4          | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2か月に1回の割合で会議を行っている。                 | 会議は2ヶ月に1回を目途に、地域包括支援センター・民生委員・家族が参加されている。ホームの行事予定や高校生との交流の状況報告等透明性に努め、理解を得られている。 | 会議の充実を図り、更に地域の理解と協力を得られる様に、多業種の方の参加を依頼して、ケアの反映に繋がる意見の収集に期待したい。 |
| 5          | 4    | ○市町との連携<br>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる               | 相談連絡等で福祉事務所及び近隣市役所との連携をとっている。       | グループホーム連絡協議会及び行政機関へ更新手続きや相談等で積極的に連携を取り組まれている。グループホームの経営管理者との情報の共有も図られている。        |                                                                |

|    |   |                                                                                                                                        |                                                                   |                                                                                        |  |
|----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 6  | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>施設自体は施錠もしておらず、身体拘束をしていない言葉での拘束回避にも取り組んでいる。</p>                 | <p>職員会議で「どのようなことが拘束になるのか？」を話し合い、「ちょっとまって！」のふとした一言を控える等、方言や言葉の使い分けを考慮の上、支援されている。</p>    |  |
| 7  |   | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>                                      | <p>肉体的・精神的虐待にも気をはらいスタッフ全体で注意を払い、防止に努めている。</p>                     |                                                                                        |  |
| 8  |   | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>                                 | <p>地域包括支援センターと連絡を取り対象の方はまだいないのだがいつでも活用できるようにしている。</p>             |                                                                                        |  |
| 9  |   | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                                                      | <p>入居の契約は入居者その家族の疑問が解消納得ができるまでは話し合いを持ち、一方的な入居とならないように気をつけている。</p> |                                                                                        |  |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                                   | <p>普段から利用者その家族が話しやすい雰囲気づくりにして、意見をなじみのスタッフに相談されている。</p>            | <p>状況に応じて家族交流の機会を設けられている。家族の訪問時、お茶の接待や利用者の状況報告に取り組みされており、毎月のお便りでの取り組みの透明性に努められている。</p> |  |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                                                                   | <p>日常的にいつでも意見や提案を聞けるようにしている</p>                                   | <p>職員会議を月2回の目途で実施されている。職員のチームワークにて申し送り・伝達事項の確認を行い、研修内容の報告や周知も取り組まれている。</p>             |  |

|                      |                                                                                                           |                                                                 |  |  |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--|--|
| 12                   | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>      | 法人としてできる限りの事は何とかできるようにと努めている。                                   |  |  |
| 13                   | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>          | 各研修会の参加への声かけ、参加した時にはそれを生かせるようにしている。                             |  |  |
| 14                   | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | 島原半島のGH連絡協会の参加、金利施設への相互訪問を行っている。                                |  |  |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |                                                                                                           |                                                                 |  |  |
| 15                   | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>        | 本人と少しでも顔見知りになれるように訪問を行い、入居されても大きな混乱等ないように努めている。                 |  |  |
| 16                   | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>                   | 訪問や施設見学時に話し合いの時間を持ち安心していただけるようにつとめている。                          |  |  |
| 17                   | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>               | その時の本人、御家族のよりよいサービスの利用を考え、常に自分の施設ではなく、ニーズに応じたサービスの利用への協力に努めている。 |  |  |

|                              |   |                                                                                     |                                                                 |                                                                       |  |
|------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|--|
| 18                           |   | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                       | お互いに笑いあったり泣いたりしあえる関係になることを大切に思っている。                             |                                                                       |  |
| 19                           |   | ○本人と共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている        | 入居されてから家族との縁が疎遠になることは悲しい事なので、急変時の連絡は勿論のこと定期的な連絡をとっている。          |                                                                       |  |
| 20                           | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                    | 利用者の方から、家族以外のなじみの方の話が出た場合、家族に話をしてお会いできるように相談している。               | 家族の訪問の機会を考慮して、家族との関係継続の支援に心掛けられている。利用者の希望にそって、自宅に立ち寄ったり、心の安定に努められている。 |  |
| 21                           |   | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | スタッフが間に入り。利用者同士が出来るだけトラブルにならないよう努めている。                          |                                                                       |  |
| 22                           |   | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 縁はとても大事な事と考えているのでせっかく知り合えた御縁なので、何か行事があるときの声かけ、こちらから電話をかけたりしている。 |                                                                       |  |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント |   |                                                                                     |                                                                 |                                                                       |  |
| 23                           | 9 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                       | スタッフ全体で取り組むようにして偏った思いにならない様に努めている。                              | 利用者と一対一の関わりの持てる受診後や入浴支援等の折に、聞き取りをされている。家族に会いたい思いを電話で伝え、家族の訪問を要望されている。 |  |

|    |    |                                                                                                         |                                                       |                                                                                  |  |
|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|--|
| 24 |    | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                        | 御家族や面会に来られた知人の方に確認をとり、これからどうしていくか検討するように努めている。        |                                                                                  |  |
| 25 |    | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                      | 日々の様子の様子観察を行い、改善すべき点があれば有する力が低下しない様に改善していくことに努めている。   |                                                                                  |  |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月1回のケア会議を開きスタッフ全体で意見を出し合い介護計画の作成にあっている。              | 各利用者の担当の職員が介護計画書の案を作成し、全員で話し合いの上、計画作成担当が作成されている。見直しは3ヶ月及び随時に行い、評価後、次の作成に繋がられている。 |  |
| 27 |    | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                         | 記録はスタッフ全体で共有し気づきや工夫については会議若しくは申し送り時に話し合いの場を持つようにしている。 |                                                                                  |  |
| 28 |    | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                | 現時点で利用できる資源の有効活用を行い柔軟なサービスの多機能化に対応できるように努めている。        |                                                                                  |  |

|    |    |                                                                                                                    |                                                       |                                                                                           |  |
|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 29 |    | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                     | 町内会、消防、警察、子供たちとの触れ合いの場を持つようにして豊かな暮らしができる様に努めている。      |                                                                                           |  |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 利用者の方が自宅にいたときからのかかりつけ医にかかるようにしており、その結果も御家族に話そうにしている。  | 定期受診及び歯科受診は職員が対応して、受診結果を電話で報告されている。かかりつけ医への通院を支援して、継続支援に努められている。                          |  |
| 31 |    | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                      | 気づいた点、疑問点をかかりつけのDr、看護職員に相談し、適切な処遇を受けられるようにしている。       |                                                                                           |  |
| 32 |    | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | スタッフが自ら面会に行き、その際に病院関係者と情報交換やお互いに相談し協力関係がとれるように心掛けている。 |                                                                                           |  |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 現在までに看とりの事例はないが、事業所で可能な範囲の支援に努めている。                   | 看取りの経緯はなく、急変の場合は救急搬送で入院に至っている。重度化した場合の対応指針を作成され、どのような状況まで対応できるか、入居時家族に口答で説明をして、同意を得られている。 |  |
| 34 |    | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                             | 消防署主催の研修及びスタッフの定期的な消防学校への参加。                          |                                                                                           |  |



|                          |    |                                                                                              |                                                          |                                                                                              |  |
|--------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 35                       | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>            | <p>町内会、消防署。消防団と話し合いの場を持ち、緊急時のお互いの受け入れ等をお互いに相談し合っている。</p> | <p>年2回消防署立会いで昼夜間想定避難訓練を実施されている。スプリンクラーの取り付けと自家発電・貯水・備蓄等整え、地域消防と協力関係を保ち緊急ファイルの作成も考慮されている。</p> |  |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |    |                                                                                              |                                                          |                                                                                              |  |
| 36                       | 14 | <p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>                 | <p>人格の尊重を振り返り、見直しを図り全スタッフによる支援の向上を目指している。</p>            | <p>利用者のトイレ介助は羞恥心を配慮して、カーテン使用等人格を尊重した対応に心掛けられている。方言も交え利用者の思いに寄り添う言葉かけで関わりを持たれている。</p>         |  |
| 37                       |    | <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>                      | <p>出来るだけ利用者の想いを汲んで出来るだけ本人の想いが叶えられるように努めている。</p>          |                                                                                              |  |
| 38                       |    | <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>スタッフのペースにならないように利用者主体で過ごせるように、できるだけ努めている。</p>         |                                                                                              |  |
| 39                       |    | <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>                                   | <p>スタッフ、協力者の援助にて声かけや手伝いしながら行う様に努めている。</p>                |                                                                                              |  |

|    |    |                                                                                         |                                                                          |                                                                       |  |
|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|--|
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている            | 病院の栄養士の協力を得て、調理師の免許を持った職員がメインとなって出来るだけ好みの味に近づけるよう努力をしている。                | 利用者もできることで調理に参加され、ホームの畑で収穫した野菜を使って献立をされている。職員は検食1名と誤嚥予防に配慮して介助をされている。 |  |
| 41 |    | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                 | 各病院の行っている栄養指導の勉強会にスタッフが参加し、疑問点等は相談できる関係作りを行っている。                         |                                                                       |  |
| 42 |    | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                         | 毎回の食事後に個々の口腔ケアを行い、口腔内に異常がないかスタッフが確認を行っている。                               |                                                                       |  |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている          | 日中は時間で声かけ誘導しトイレの使用。目標を持ち自立支援に努めているが、年々利用者の加齢による低下もみられてきて難しくなっているのが現実である。 | 利用者の状況に応じて、パンツにパット使用でオムツの排除に努められている。便秘に留意して、排便チェックを行い、水分補給を配慮されている。   |  |
| 44 |    | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                          | 運動・水分補給・食物による植物繊維の含まれてる食事作り、それだけで出ない場合は体の事も考えて薬の服用。                      |                                                                       |  |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 希望される方や入浴拒否の方がいつでも入れるよう毎日の入浴を可能としている。状況に応じてはシャワー浴や清拭も行っている。              | 利用者が気持ちよく入浴できる様に職員担当を臨機応変に対応されている。入浴は週2・3回の支援でも毎日対応でき、清潔保持に心掛けられている。  |  |

|    |    |                                                                                                                                                  |                                                                                                             |                                                                                                                                 |  |
|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 46 |    | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々<br/>の状況に応じて、休息したり、安心して<br/>気持ちよく眠れるよう支援している</p>                                                              | <p>利用者個々の生活サ<br/>イクルを把握し、そ<br/>の人の応じた休息や<br/>睡眠時間を支援して<br/>いる。</p>                                          |                                                                                                                                 |  |
| 47 |    | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的<br/>や副作用、用法や用量について理解し<br/>ており、服薬の支援と症状の変化の確<br/>認に努めている</p>                                                     | <p>薬は事務所にて保管<br/>し会議でも話し合い<br/>の場を持ち誤薬等な<br/>いようにスタッフ全<br/>体でおこなってい<br/>る。</p>                              |                                                                                                                                 |  |
| 48 |    | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせ<br/>るように、一人ひとりの生活歴や力を<br/>活かした役割、嗜好品、楽しみごと、<br/>気分転換等の支援をしている</p>                                        | <p>その人に応じた余暇<br/>活動、お手伝いをス<br/>タッフと一緒にに行<br/>っている。</p>                                                      |                                                                                                                                 |  |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそっ<br/>て、戸外に出かけられるよう支援に努<br/>めている。また、普段は行けないよう<br/>な場所でも、本人の希望を把握し、家<br/>族や地域の人々と協力しながら出かけ<br/>られるように支援している</p> | <p>施設の自然環境を活<br/>かし気温に配慮しつ<br/>つ散歩や日光浴、気<br/>候、天気の良い時は<br/>ドライブに行ってい<br/>る。</p>                             | <p>利用者の希望に応じ<br/>て、買い物へ外出され<br/>たり、季節の花見物等<br/>外出支援をされてい<br/>る。庭園の散歩や畑で<br/>の収穫等、季節感を十<br/>分に楽しみ、癒しを得<br/>られる配慮をされてい<br/>る。</p> |  |
| 50 |    | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切<br/>さを理解しており、一人ひとりの希<br/>望や力に応じて、お金を所持したり使<br/>えるように支援している</p>                                        | <p>金銭の所持は原則事<br/>業所管理となっている<br/>が、買い物等行く<br/>時には本人に持たせ<br/>てスタッフと利用者<br/>で買い物しながら大<br/>切さを話し合ってい<br/>る。</p> |                                                                                                                                 |  |

|    |    |                                                                                                                                             |                                                                     |                                                                                                 |  |
|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 51 |    | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                                                           | <p>電話・手紙はいつでも自由にかけたり出せる様に援助している。</p>                                |                                                                                                 |  |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>ハード面の豊かさは十分であるが、一番大切なのは援助する側の心の温かさがなければ豊かなハード面も活きてこないと思っている。</p> | <p>ガラスの仕切り戸で見通しが良く、木材の使用で温かみを感じられる。不快な匂いもなく、採光も適正で庭の水音により心地よさが楽しめ、利用者は食後にひざ掛けをしてソファで寛がれている。</p> |  |
| 53 |    | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>                                                      | <p>共有空間の中にもそれぞれが落ち着く場所、ソファ・椅子・和室とありめいめいが落ち着く場所で過ごされている。</p>         |                                                                                                 |  |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>                                          | <p>個人差はあるが、布団はそれぞれ持ち込みとしておりなじみの品に関してもしばりはつくっていない。</p>               | <p>利用者一人ひとりの住まいの居室は、収納を整え畳と木材を使用し、寛げる様に工夫されている。希望の品物の持ち込みの制限はされず、常に声をかけて心地よく過ごせる様に配慮されている。</p>  |  |
| 55 |    | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>                                            | <p>居室やトイレには手作りの立て札をつけてはいるが、それでも解らない時はスタッフがさりげなく声かけするようにしている。</p>    |                                                                                                 |  |

| V アウトカム項目 |                                                                        |   |                                                                   |
|-----------|------------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------|
| 56        | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。<br>(参考項目：23,24,25)                        | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の<br>2, 利用者の2/3くらいの<br>3, 利用者の1/3くらいの<br>4, ほとんど掴んでいない |
| 57        | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。<br>(参考項目：18,38)                               | ○ | 1, 毎日ある<br>2, 数日に1回程度ある<br>3, たまにある<br>4, ほとんどない                  |
| 58        | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。<br>(参考項目：38)                                    | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 59        | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目：36,37)                      | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 60        | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目：49)                                    | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 61        | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。<br>(参考項目：30,31)                          | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 62        | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。<br>(参考項目：28)                    | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 63        | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。<br>(参考項目：9,10,19)     | ○ | 1, ほぼ全ての家族と<br>2, 家族の2/3くらいと<br>3, 家族の1/3くらいと<br>4, ほとんどできていない    |
| 64        | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。<br>(参考項目：9,10,19)                    | ○ | 1, ほぼ毎日のように<br>2, 数日に1回程度ある<br>3, たまに<br>4, ほとんどない                |
| 65        | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。<br>(参考項目：4) | ○ | 1, 大いに増えている<br>2, 少しずつ増えている<br>3, あまり増えていない<br>4, 全くいない           |
| 66        | 職員は、生き活きと働いている。<br>(参考項目：11,12)                                        | ○ | 1, ほぼ全ての職員が<br>2, 職員の2/3くらいが<br>3, 職員の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない       |
| 67        | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。                                         | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3, 利用者の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |
| 68        | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。                                     | ○ | 1, ほぼ全ての家族等が<br>2, 家族等の2/3くらいが<br>3, 家族等の1/3くらいが<br>4, ほとんどいない    |

(別紙2-2)

ユニット名 南棟

## 1 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価       | 外部評価 | 項 目                                                                                    | 自己評価                                | 外部評価 |                           |
|------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|------|---------------------------|
|            |      |                                                                                        | 実施状況                                | 実施状況 | 次のステップ<br>に向けて期待<br>したい内容 |
| I 理念に基づく運営 |      |                                                                                        |                                     |      |                           |
| 1          | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                     | 新たな理念を作成したいのだが試行錯誤中で以前の理念を現在も使っている。 |      |                           |
| 2          | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                     | 自治会・老人会・子供会と世代間交流に努めている。            |      |                           |
| 3          |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                   | 地域の小・中学校の福祉体験学習や島原農業高校の学生（太鼓部）の受け入れ |      |                           |
| 4          | 3    | ○運営推進会議を活かした取組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2か月に1回の割合で会議を行っている。                 |      |                           |
| 5          | 4    | ○市町との連携<br>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる             | 相談連絡等で福祉事務所及び近隣市役所との連携をとっている。       |      |                           |

|    |   |                                                                                                                                        |                                                            |  |  |
|----|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|--|--|
| 6  | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | 施設自体は施錠もしておらず、身体拘束をしていない言葉での拘束回避にも取り組んでいる。                 |  |  |
| 7  |   | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>                                       | 肉体的・精神的虐待にも気をはらいスタッフ全体で注意を払い、防止に努めている。                     |  |  |
| 8  |   | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>                                 | 地域包括支援センターと連絡を取り対象の方はまだいないのだけどいつでも活用できるようにしている。            |  |  |
| 9  |   | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>                                                      | 入居の契約は入居者その家族の疑問が解消納得ができるまでは話し合いを持ち、一方的な入居とならないように気をつけている。 |  |  |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>                                                   | 普段から利用者その家族が話しやすい雰囲気づくりにして、意見をなじみのスタッフに相談されている。            |  |  |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>                                                                   | 日常的にいつでも意見や提案を聞けるようにしている                                   |  |  |

|                      |                                                                                                           |                                                                 |  |  |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--|--|
| 12                   | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>      | 法人としてできる限りの事は何とかできるようにと努めている。                                   |  |  |
| 13                   | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>          | 各研修会の参加への声かけ、参加した時にはそれを生かせるようにしている。                             |  |  |
| 14                   | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p> | 島原半島のGH連絡協会の参加、金利施設への相互訪問を行っている。                                |  |  |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |                                                                                                           |                                                                 |  |  |
| 15                   | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>        | 本人と少しでも顔見知りになれるように訪問を行い、入居されても大きな混乱等ないように努めている。                 |  |  |
| 16                   | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>                   | 訪問や施設見学時に話し合いの時間をもち安心していただけるようにつとめている。                          |  |  |
| 17                   | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>               | その時の本人、御家族のよりよいサービスの利用を考え、常に自分の施設ではなく、ニーズに応じたサービスの利用への協力に努めている。 |  |  |



|                              |   |                                                                                     |                                                                 |  |  |
|------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--|--|
| 18                           |   | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                       | お互いに笑いあったり泣いたりしあえる関係になることを大切に思っている。                             |  |  |
| 19                           |   | ○本人と共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えている関係を築いている        | 入居されてから家族との縁が疎遠になることは悲しい事なので、急変時の連絡は勿論のこと定期的な連絡をとっている。          |  |  |
| 20                           | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている                     | 利用者の方から、家族以外のなじみの方の話が出た場合、家族に話をしてお会いできるように相談している。               |  |  |
| 21                           |   | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                | スタッフが間に入り。利用者同士が出来るだけトラブルにならないよう努めている。                          |  |  |
| 22                           |   | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 縁はとても大事な事と考えているのでせっかく知り合えた御縁なので、何か行事があるときの声かけ、こちらから電話をかけたりしている。 |  |  |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント |   |                                                                                     |                                                                 |  |  |
| 23                           | 9 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。                       | スタッフ全体で取り組むようにして偏った思いにならない様に努めている。                              |  |  |

|    |    |                                                                                                                   |                                                       |  |  |
|----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|--|--|
| 24 |    | <p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>                                       | 御家族や面会に来られた知人の方に確認をとり、これからどうしていくか検討するように努めている。        |  |  |
| 25 |    | <p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>                                                     | 日々の様子の様子観察を行い、改善すべき点があれば有する力が低下しない様に改善していくことに努めている。   |  |  |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | 毎月1回のケア会議を開きスタッフ全体で意見を出し合い介護計画の作成にあたっている。             |  |  |
| 27 |    | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>                        | 記録はスタッフ全体で共有し気づきや工夫については会議若しくは申し送り時に話し合いの場を持つようにしている。 |  |  |
| 28 |    | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に来るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>                | 現時点で利用できる資源の有効活用を行い柔軟なサービスの多機能化に対応できるように努めている。        |  |  |
| 29 |    | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>                         | 町内会、消防、警察、子供たちとの触れ合いの場を持つようにして豊かな暮らしができる様に努めている。      |  |  |

|    |    |                                                                                                                               |                                                              |  |  |
|----|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--|--|
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>                                | <p>利用者の方が自宅にいたときからのかかりつけ医にかかるようにしており、その結果も御家族に話すようにしている。</p> |  |  |
| 31 |    | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>                      | <p>気づいた点、疑問点をかかりつけのDr、看護職員に相談し、適切な処遇を受けられるようにしている。</p>       |  |  |
| 32 |    | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>スタッフが自ら面会に行き、その際に病院関係者と情報交換やお互いに相談し協力関係がとれるように心掛けている。</p> |  |  |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>現在までに看とりの事例はないが、事業所で可能な範囲の支援に努めている。</p>                   |  |  |
| 34 |    | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>                                             | <p>消防署主催の研修及びスタッフの定期的な消防学校への参加。</p>                          |  |  |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>                                             | <p>町内会、消防署。消防団と話し合いの場を持ち、緊急時のお互いの受け入れ等をお互いに相談し合っている。</p>     |  |  |

| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |    |                                                                                   |                                                           |  |
|--------------------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|--|
| 36                       | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                 | 人格の尊重を振り返り、見直しを図り全スタッフによる支援の向上を目指している。                    |  |
| 37                       |    | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 出来るだけ利用者の想いを汲んで出来るだけ本人の想いが叶えられるように努めている。                  |  |
| 38                       |    | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | スタッフのペースにならないように利用者主体で過ごせるように、できるだけ努めている。                 |  |
| 39                       |    | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | スタッフ、協力者の援助にて声かけや手伝いしながら行う様に努めている。                        |  |
| 40                       | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている      | 病院の栄養士の協力を得て、調理師の免許を持った職員がメインとなって出来るだけ好みの味に近づけるよう努力をしている。 |  |
| 41                       |    | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 各病院の行っている栄養指導の勉強会にスタッフが参加し、疑問点等は相談できる関係作りを行っている。          |  |

|    |    |                                                                                                    |                                                                              |  |  |
|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 42 |    | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>                         | <p>毎回の食事後に個々の口腔ケアを行い、口腔内に異常がないかスタッフがついて行っている。</p>                            |  |  |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>          | <p>日中は時間で声かけ誘導しトイレの使用。目標を持ち自立支援に努めているが、年々利用者の加齢による低下もみられてきて難しくなっているのが現実で</p> |  |  |
| 44 |    | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>                          | <p>運動・水分補給・食物による植物繊維の含まれてる食事作り、それだけで出ない場合は体の事も考えて薬の服用。</p>                   |  |  |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p> | <p>希望される方や入浴拒否の方がいつでも入れるよう毎日の入浴を可能としている。状況に応じてはシャワー浴や清拭も行っている。</p>           |  |  |
| 46 |    | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>                           | <p>利用者個々の生活サイクルを把握し、その人に応じた休息や睡眠時間を支援している。</p>                               |  |  |
| 47 |    | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>                      | <p>薬は事務所にて保管し会議でも話し合いの場を持ち誤薬等ないようにスタッフ全体でおこなっている。</p>                        |  |  |

|    |    |                                                                                                                                             |                                                                   |  |  |
|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--|--|
| 48 |    | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>                                                  | その人に応じた余暇活動、お手伝いをスタッフと一緒にしている。                                    |  |  |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>                     | 施設の自然環境を活かし気温に配慮しつつ散歩や日光浴、気候、天気が良い時はドライブに行っている。                   |  |  |
| 50 |    | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>                                                  | 金銭の所持は原則事業所管理となっているが、買い物等行く時には本人に持たせてスタッフと利用者で買い物しながら大切さを話し合っている。 |  |  |
| 51 |    | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>                                                                           | 電話・手紙はいつでも自由にかけたり出せる様に援助している。                                     |  |  |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | ハード面の豊かさは十分であるが、一番大切なのは援助する側の心の温かさがなければ豊かなハード面も活きてこないと思っている。      |  |  |
| 53 |    | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>                                                      | 共有空間の中にもそれぞれが落ち着く場所、ソファ・椅子・和室とありめいめいが落ち着く場所で過ごされている。              |  |  |

|    |    |                                                                                         |                                                           |  |  |
|----|----|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|--|--|
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 個人差はあるが、布団はそれぞれ持ち込みとしておりなじみの品に関してもしほりはつくっていない。            |  |  |
| 55 |    | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 居室やトイレには手作りの立て札をつけてはいるが、それでも解らない時はスタッフがさりげなく声かけするようにしている。 |  |  |

#### V アウトカム項目

|    |                                                                     |   |                                                                   |
|----|---------------------------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。<br>(参考項目：23,24,25)                     | ○ | 1, ほぼ全ての利用者の<br>2, 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。<br>(参考項目：18,38)                            | ○ | 1, 毎日ある<br>2, 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。<br>(参考項目：38)                                 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目：36,37)                   | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目：49)                                 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。<br>(参考項目：30,31)                       | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。<br>(参考項目：28)                 | ○ | 1, ほぼ全ての利用者が<br>2, 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。<br>(参考項目：9,10,19) | ○ | 1, ほぼ全ての家族と<br>2, 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |

|    |                                                                        |   |                |
|----|------------------------------------------------------------------------|---|----------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。<br>(参考項目：9,10,19)                    |   | 1, ほぼ毎日のように    |
|    |                                                                        |   | 2, 数日に1回程度ある   |
|    |                                                                        | ○ | 3. たまに         |
|    |                                                                        |   | 4. ほとんどない      |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。<br>(参考項目：4) |   | 1, 大いに増えている    |
|    |                                                                        | ○ | 2, 少しずつ増えている   |
|    |                                                                        |   | 3. あまり増えていない   |
|    |                                                                        |   | 4. 全くいない       |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。<br>(参考項目：11,12)                                        |   | 1, ほぼ全ての職員が    |
|    |                                                                        |   | 2, 職員の2/3くらいが  |
|    |                                                                        | ○ | 3. 職員の1/3くらいが  |
|    |                                                                        |   | 4. ほとんどいない     |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。                                         |   | 1, ほぼ全ての利用者が   |
|    |                                                                        |   | 2, 利用者の2/3くらいが |
|    |                                                                        | ○ | 3. 利用者の1/3くらいが |
|    |                                                                        |   | 4. ほとんどいない     |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。                                     |   | 1, ほぼ全ての家族等が   |
|    |                                                                        | ○ | 2, 家族等の2/3くらいが |
|    |                                                                        |   | 3. 家族等の1/3くらいが |
|    |                                                                        |   | 4. ほとんどいない     |